

平成二十九年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十九年五月一日～平成二十九年七月末

投句数 三、二四四句

特選三句

天

座禅組む渡り廊下に蓮の風

神奈川県横浜市南区

岸本 隆雄

地

鎌倉の夜明けを告げる時鳥

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

人

夏蝶の枯山水に落とす影

東京都西東京市

今井 裕子

入選句

一般の部

夏来る一の鳥居の先は海

神奈川県平塚市

青木 良子

境内を抜ける江ノ電若葉風

埼玉県春日部市

阿部 功

老鶯の声艶やかや虚子の寺

神奈川県横浜市旭区

加瀬 伸子

江ノ電の真正面なる皐月富士

東京都目黒区

片桐 啓之

うの花や古都の裏道風の道

神奈川県横浜市港南区

金子 きよ

永福寺跡を守りてかたつむり

神奈川県藤沢市

神谷 章夫

天園へ鎌倉宮へ結ぶ虹

神奈川県鎌倉市

兎玉 純一郎

洪鐘へ百段の磴緑差す

埼玉県春日部市

小山 愛子

時をりは電車過ぐ音濃あぢさゐ

神奈川県横浜市金沢区

篠原 広子

春光のとどかぬ秘仏拝しけり

東京都町田市

竹内 弘

若楓したたる小径山門へ

東京都国立市

中野 一灯

江ノ電の駅緑蔭に人を容れ

神奈川県三浦市

秦 孝浩

軽暖の風通り過ぐ解脱門

埼玉県春日部市

正能 文男

紫陽花の藍鮮やかに雨を呼び

神奈川県逗子市

森澤 謙二郎

改札に七夕竹の高くあり

東京都中野区

森島 弘美

(順不同)

入選句

子どもの部

大仏を見上げる空に夏の雲

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

秋元 千佳

涼風に吹かれ一礼妙隆寺

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

石川 桜輔

新緑が長谷のだいぶつかこんでる

京都府京都市伏見区

大森 奏

大仏がほほえんだとき春が来る

東京都豊島区

岡田 將汰

大仏に虹がかかるよ美しく

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

関口 あゆみ

あじさいや何にそまるか僕の夢

神奈川県鎌倉市

関堂 翔洋

なつやすみたのしいことがまってるよ

東京都世田谷区

田中 悠斗

紫陽花のむらさき映える雨の寺

神奈川県鎌倉市

照山 響稀

暑い中僕は見上げる大仏を

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

芳賀 柊哉

新緑の門をくぐりて円覚寺

東京都豊島区

長谷川 旭

五月雨の古都鎌倉の寺巡る

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

林

祐輝

あじさいがもうすぐさくねたのしみだ

神奈川県鎌倉市

林

夢絆

あじさいが花火のようにさいている

埼玉県比企郡小川町

藤卷

優斗

山の奥かすかに聞こえる滝の音

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

藤崎

素哉

卯波みて修学旅行近づいた

神奈川県鎌倉市

村田

ゆうせい

(順不同)